

ドム語の訓話*

Dom admonitory lecture

千田俊太郎
TIDA Syuntarô

1 はじめに

本稿ではパプア・ニューギニアのシンブー州で話されるドム語のテキストとして訓話についての語りを扱ふ。語り手はウル・アルノル、グミネ地区のドム地域(第一ドム)のヤイレ・マウレ出身で、調査時点で推定 70 代の、ノン・ク氏族に属する男性である。録音は 2017 年 9 月 17 日にヤイレ・マウレで行なつた。長さは 9 分程度である。

訓話 (Mkrn /kaman) はドム語においてはお伽話 (「kup /kaman) とともに /kaman 「話」といふジャンルの口承伝統である (千田 2013)。本来は一定年齢 (水汲みや柴刈ができるやうになつた児童程度) 以上の男性が共同生活する「男の家」で、大人が子供に聞かせる話であつたが、男の家の衰退とともに、本来の形での継承はほぼ途絶えてゐると考へられる。ここに示すテキストも訓話そのものではなく、訓話の思ひ出し語りである。

語釋付きテキストの日本語譯はできるだけドム語表現に忠實に直譯したが、全譯では全體を読みやすくするために少し表現に手を入れた。

テキストの言語表現に関する特徴をいくつか指摘しておきたい。まづ、發音、語彙、その他全般にわたり、年長者らしい特徴を維持してゐる。ドム語では多音節語の語末の母音 *e* がしばしば脱落する。第一ドムの若い世代では *e* の脱落が起こつた形式しか使はない者もゐる。本テキストの話者は若い世代に比べると、語末の *e* がはつきり發音された場合が多い。

語末の *e* については、本来存在したのかどうか分からないものや、古い世代においてすでに失はれてゐたと考へられるものもある。例へば「バナナ」は現在の第一ドムの方言では *Nkam* といふ語形を使ひ、*Nkame* といふ發音は他のシンブー系諸言語の語形のやうに聞こえるといふ。ドムでも主に年長者に *Nkame* といふ發音をする場合が時々見られるが、通常一貫しない。周辺の諸言語では *kame* (Tabare, Sinasina), *kabe* (Golin), *ka^mbe* (Kuman) のやうに、全て語末に母音 *e* を持つてゐるため、比較の證據からは祖形の語末に *e* が立てられる。おそらくドムでは *e* 脱落が早くに起こつて定着した語彙の一つなのだらう。このテキストでも「バナナ」を表す語の發音は *Nkam* がほとんどだが、一度だけはつきり *Nkame* と發音してゐる。

* 本論文の一部は JSPS 科研費 JP16H03416, JP17H02333, JP18K00533 の成果の一部である。テキストの書き起こし作業は息子のミンタイ・マルクス氏とともに行なふことができ、筆者の知らなかつた表現について解説をいただいたほか、言ひ誤りにあたりと考へられる部分についても討論することができた。記して謝意を表するものである。

子音連続 $l+k$ で先行する l が脱落する傾向も若い世代のドム語話者に顕著に見られる。特に、連用形の聲調が下降型で語幹末に l をもつ、下降型 l 語幹の動詞に否定の接語 $+/kl-$ が後続する際に、動詞語幹の聲調が高平型になり、かつ動詞語幹末の l が脱落することは、若い世代の話者にとっては完全に義務的規則になつてゐるものと見られる。年長者はこの規則は任意にしか適用されず、丁寧な発話では聲調交替も l 脱落も起こさない。ただし、普通の発話スピードではこのことを確認することは非常に難しい。 k の前の l は短い無聲の軟口蓋側面音 $[ɮ]$ の異音で現れ、ピッチの移行も分節音の存在も確認しづらいのである。本テキストでは、下降型 l 語幹の動詞に否定の接語が後続する環境で、 l の維持が二度確認できる (26, 36)。

トク・ピシンからの借用語には、 $\Lambda moni$ 「金(銭)」(28)、 Λkot 「裁判」(39)、 $\Lambda pren$ 「友達、恋人」(45)、 $\Lambda popo$ 「パパイヤ」(48)、 Λpe 「支拂」(58)、 $\Lambda sapol$ 「スコップ」(63)、 $\Lambda pati$ 「宴」(105)のほか、数詞 $\Lambda paip$ 「五」(99)、 $\Lambda siks$ 「六」(100)、 $\Lambda sepen$ 「七」(100)があつた。いづれも、本来のドムの固有語にない概念を表すものか、ドムの固有語では一語で表現できず長い表現になるものである。若い世代では、本来のドムの固有語で十分に表現しうる場合にもトク・ピシンからの借用を行なふことがあるが、本テキストではそのやうな例はないやうである。

2 昔の教へ

2.1 語釋付きテキスト

- (1) $\Gamma na \ \Lambda komne \ Vap^e \ \Gamma mna^* \ \Lambda bol \ \Lambda komne \ Vmo-pga \ \Lambda pe, \ Vene, \ Vgaal$
 我 初 父 母 COM 初 居-1SG.SRD 上方. あの さて 子供
 $\Lambda kul^e \ \Lambda yal \ Vike \ \Lambda er-e \ \Lambda krn \ Vkaman \ \Lambda to-gwi, \ \Lambda yal \ Vike \ \Gamma ere^{**}$
 産-CONJ(SS) 男 家 移-CONJ(SS) 訓 話 與-3SG.DEM 男 家 火
 $\Lambda bri \ Vsuta \ \Lambda gal-gwe.$
 集積 三 焼-3SG.DEC

我々が昔、両親と一緒に暮らしてゐたころ、子供を生み、[子供が成長したら]男の家にやつて、訓話を聞かせる際には、男の家に三箇所火を焚いたものだ。

(*「私の母」は通常上稱型の聲調をもつ ($Vmna$) が、「父母」の對表現の中でしばしば高平型の聲調で現れる。**「ere」は「火」と「薪、柴」の二つの意味をもつ。文脈に合わせて語釋を選ぶことにする。)

- (2) $\Lambda gal \ \Lambda kor^e = Vpare, \ Vene, \ Vgaal \ \Lambda le \ \Lambda s-o \ \Lambda du-gw^e.$
 焼.INF COMPL-CONJ(SS)=後 (SS) さて 子供 列 (打)-IMP 言-3SG.DEC
 さうして、子供に竝ぶやうに言ふ。

- (3) *Vgaal Vbol Vteul* Γ *yu*, *Vbol Vteul* Γ *yu* *Abna* Γ *kol^e* Γ *kol^e*
 子供 臺 剝.INF 持つて来る.INF 臺 剝.INF 持つて来る.INF 端 片方 片方
Vye Vwenap^e Λ *su-gwa*,
 置.INF 圍 (打)-3SG.SRD

子供は寝臺の板を外してきて、寝臺の板を外してきて爐端のぐるり全てに置いて、

- (4) Γ *na* *Abna* Γ *kol^e* Γ *kol^e* *ni* Λ *mol* Λ *mol* Γ *u* *Vwenap^e* Γ *s*
 我 端 片方 片方 DEM 居.INF 居.INF 来.INF 圍 (打).INF
Nkor-pgo, *Vene* Λ *yal* *ni* {*kar ka*} Γ *ka* *Vkare* Γ *kal^e*
 COMPL-1PL.CONJ(DS) さて 男 DEM 詞 既 足-3SG.POSS
*Nkol** Λ *du-gwe*.
 動.INF 言-3SG.DEC

我々が爐端のぐるりに坐り終はると、男が話を始める。

(* Γ *kale* *Nkol*- 「足を動かす」は「始める」の意の慣用句。)

- (5) Γ *ka* Γ *kal^e* *Nkol* Λ *d-ral^e* Λ *du-gwi* Λ *komn^e* Λ *won^e* *lⁱpe*, *Vana*,
 詞 足-3SG.POSS 動.INF 言-FUT-1SG 言-3SG.DEM 初 甚 上方. あの さて
 (Λ)*komna* *Nkunl** Λ *no-pga* Γ *ka* *ni* Λ *du-gwe*.
 野菜 盗 食-1PL.SRD 詞 DEM 言-3SG.DEC

最初に話さうとすることは、昔、盗みをはたらく話をした。

(**Nkunl* は「盗みで」を意味する副詞で、主に取得・消費を表す動詞と組み合わせられて使われる。この後の文脈から明らかなやうに、その概念範疇は不貞を含むものである。)

- (6) Γ *en* *Nkunl* *ni* Γ *ne+(V)kl-o* Λ *du-gw^e*.
 汝 盗 DEM 食 +NEG-IMP 言-3SG.DEC

「盗みはするな」と言つた。

- (7) Λ *yal* *mol-Va-ga* *Vene* Λ *yal* Γ *ta** *Vepi* Γ *d* *Vye+(V)kl-o***.
 男 居-FUT-2SG.SRD さて 男 他 妻.3SG.POSS 言.INF 置 +NEG-IMP

大人(既婚)になつたら他人の妻を誘つてはならない、

(* Γ *ta* は「一、他」を意味するほか、反事実 (irrealis) の標識である場合があるが、厳密に區別することは難しいことが多い。「一」で解釋しにくい場合に文脈に合ふ語釋を與へる。**) Γ *d* *Vye*- 「言ふ + 置く」は「言ひ寄る」の意の慣用句。)

- (8) *ʌkʌnl ʄi+(ʌ)kl-o ʌdu-gw^e.*
 盜 交 +NEG-IMP 言-3SG.DEC

不貞をはたらいてはならないと言った。

- (9) *ʌne ʌyel ʄd ʄne ʌto-gwa ʌp-pga ʌyel el-ʌa-n=(ʌ)ba*
 さて 如是 言-INF 1NSG.EXCL 與-3SG.SRD 聞-1PL.SRD 如是 する-FUT-2SG=ADVRS
ʌkura ʌbol-e ʌitalam^e el-ʌa-n=ʄ(ʌ)wa ʌdu-gw^e.
 戰 (衝)-CONJ(SS) 悶着 する-FUT-2SG=節末 言-3SG.DEC

このやうに教へられ、「そんなことをすると、諍ひ・面倒を起こすことになる」と言
 った。

- (10) *ʌyel ʌwon^e ʌwon^e ʄe+ʌkl-o. ʄkle=(ʄ)d ʄmol-o ʌdu-gw^e.*
 如是 正 正 する +NEG-IMP. 靜=ADVR 居-IMP 言-3SG.DEC

「決してそんなことはしてはならない、慎め」と言った。

- (11) *ʌyel ʄd ʄne ʄte-re, ʌwan ʄere ʌnl ʄnul^e ʌna-ga*
 如是 言-INF 1NSG.EXCL 與-CONJ(SS) 巡-INF DEST 水 川 行-FUT-2SG.SRD
ʌnim^e=ʌwe, ʄka ʌbl ʄd+(ʌ)kl-o ʌdu-gw^e.
 下方. あの=句末 詞 大 言 +NEG-IMP 言-3SG.DEC

我々にかう言つて、川に降りて行く時には大聲を出すなと言った。

- (12) *ʄka ʌbl ʄd-re wan-ʌa-n=(ʌ)ba, ʌyal ʄta ʌkʌnl ʌne-na-gwa ʌyal=ʄrae*
 詞 大 言-CONJ(SS) 巡-FUT-2SG=ADVRS 男 一 盜 食-FUT-3SG.SRD 男=MK
ʌmu ʌkl=ʄta ʌi ʌklaa=ʄd ʄu,
 背 方=LOC DEM 密=ADVR 來-INF

大聲を出して歩くと、盗みをはたらくやうな者は後ろからこつそりやつて来て、

- (13) *ʄu ʌkal ʌnim^e ʌau ʄi-re ʄer^e ʌna-n, ʄen ʄduul*
 來-INF 物 下方. あの 握-INF 持-CONJ(SS) DEST 行-FUT-3SG.CONJ(DS) 汝 跡
ʄp ʄs ʄtorma ʌte-go,
 行-INF 打-INF 混 (與)-2SG.CONJ(DS)

人の物を手にして持ち去つて、[その人の足跡が] お前の足跡と混ざつてしまふと、

- (14) ʔen ʔkal-n ʔduul ni=ʔrae ʔduul ʔbol ʔer^e ʔila ʔu-na-n,
 汝 足-2SG.POSS 跡 DEM=MK 跡 追.INF DEST 内 來-FUT-3SG.CONJ(DS)

[犯人を探す者が] お前の足跡をつけて家にやつて来て、

- (15) ʔen ʔbola ʔkui ʔyu ʔte-na-n=ʔua ʔdu-gw^e.
 汝 豚 償 徒 與-FUT-2SG=節末 言-3SG.DEC

お前は身に覚えがなくとも豚で償ひ(ʔkui)をすることになると言つた。

- (16) ʔkumap el-ʔa-n=(ʔ)wa ʔdu-gw^e.
 償 する-FUT-2SG=節末 言-3SG.DEC

償ひ(ʔkumap)をすることになると言つた。

- (17) ʔen ʔila ʔim^e ʔka ʔdral ʔd-re ʔwan+(ʔ)kl-o. ʔkl^e ʔkl^e=(ʔ)d ʔwan-o.
 汝 内 下方.あの 詞 贅 言-CONJ(SS) 巡 +NEG-IMP 静 静=ADVR 巡-IMP
 ʔdu-gw^e.
 言-3SG.DEC

お前は下の方で無駄口を叩いて歩くな、静かに歩けと言つた。

- (18) ʔana ʔapal ʔkepa ʔbik^e ʔs-na-gwal ʔip^e ʔna-dae
 さて 女 薩摩芋 洗 (打)-FUT-3SG.LOC 上方.あの 行.FUT-2SG.MK

さて、上の方の女が芋を洗ふところに行く際には、

- (19) ʔen ʔkuul ʔip^e ʔer^e ʔsu ʔi-r^e ʔu-na-dae
 汝 山 上方.あの 柴 刈.INF 持-CONJ(SS) 來-FUT-2SG.MK

山で柴刈をして歸つて来る時など、

- (20) ʔkuul ʔip^e ʔu-r^e ʔp-go
 山 上方.あの 來-CONJ(SS) 聞-2SG.CONJ(DS)

山で聞くに、

- (21) *lyopal* *Γila* *lim^e* *ʋapal* *ʋgaal* *Γila* *lim^e* *ʋkepa* *ʋbik^e* *Γs* *ʌmol*
 人 内 下方. あの 女 子供 内 下方. あの 薩摩芋 洗 (打).INF 居.INF
ʌd-na-n
 NVS-FUT-CONJ(DS)

人が、女子供が下の方で芋を洗ふ音がしたら、

- (22) *Γen* *ʋa* *ʋma* *Γd* *Γka* *ʌdu* *Γs-re* *Γka* *ʌdral* *Γd-re* *ʌu-o*
 汝 あー RED 言.INF 詞 歌 (打)-CONJ(SS) 詞 贅 言-CONJ(SS) 来-IMP
ʌdu-gw^e.
 言-3SG.DEC

「あー」とか「おい」とか言つたり歌を歌つたりして、ごちやごちや言ひながら道を行くものだと言つた。

- (23) *ʌu-na-n=ʌiba* *Γye* *ʌpl^e=ʋpare*
 来-FUT-2SG=ADVRS 3SG 聞-CONJ(SS)=後 (SS)

お前が来ても、その人は物音を聞いて、

- (24) *Γel#ʌer* *Γmana=(Γ)d* *mol-ʋa-gwa* *ʋau* *Γtopa* *ʌs-na-n* *ʋau*
 肌脱ぎ 忘我=ADVRS 居-FUT-3SG.SRD 握.INF 整 (打)-FUT-3SG.CONJ(DS) 握.INF
Γtopa *Γs* *mol-ʋa-gwa*
 整 (打).INF 居-FUT-3SG.SRD

あられもない姿で油断してゐたとしても装ひをかき合はせて、かき合はせてゐたならば、

- (25) *ʌu-na-g+Γi=Γrae* *Γye* *ʌalaa* *Γta* *Γs+(ʋ)kl-a-m=(ʌ)wa* *ʌdu-gw^e*.
 来-FUT-2SG+DEM=MK 3SG 喊 IRR (打)+NEG-FUT-3SG=節末 言-3SG.DEC

お前が来るといふときにも叫ぶことはないと言つた。

- (26) *Γye* *Γpl+ʋkl-e* *mol-ʋa-n* *Γen* *Γnoman^e* *ʌpl* *ʌmol* *Γp*
 3SG 知 +NEG-CONJ(SS) 居-FUT-3SG.CONJ(DS) 汝 考へ 思.INF 居.INF 行.INF
lim^e *Γgeu* *Γd* *ʌi-g^e*
 下方. あの 接 (言).INF 遇-2SG.CONJ(SS)

その人が知らずにをれば、お前が思ひ耽つて(聲も立てずに)下りて行つて出くはした時に、

- (27) ʔye ʔna ʋkal-na=(ʔ)rae ʋkan-n-o? ʔd-re ʌalaa ʌs-na-wdae ʔen
 3SG 1SG 物-1SG.POSS=MK 見-2SG-INT 言-CONJ(SS) 喊 (打)-FUT-3SG.MK 汝
 ʌbola-n ʋkui ʔte-re ʔdi ʌmik ʌbl ʌte-na-n=ʌua ʌdu-gw^e.
 豚-2SG.POSS 償 與-CONJ(SS) 斧 錢 大 與-FUT-2SG=節末 言-3SG.DEC

「お前、わたしのモノを見たね」と言つて叫ぶから、お前は豚で賠償し、また金銭をもやるはめになると言つた。

- (28) (ʌ)mik ʌmoni ʌte-na-n=ʌua ʌdu-gw^e.
 錢 金銭 與-FUT-2SG=節末 言-3SG.DEC

金銭をやるはめになると言つた。

- (29) ʔen ʋyel ʔe+ʋkl-o ʌdu-gw^e.
 汝 如是 する +NEG-IMP 言-3SG.DEC

こんなことはするなと言つた。

- (30) ʌu-na-ga ʌip^e ʌp-go ʋapal ʔnuul ʌim^e ʌmol
 來-FUT-2SG.SRD 上方. あの 聞-2SG.CONJ(DS) 女 川 下方. あの 居.INF
 ʌd-na-n
 NVS-FUT-3SG.CONJ(DS)

お前が来る際に上手で聞くに、女が下手の川にゐる氣配がしたら

- (31) ʋa ʋma ʔd-re ʌnu ʔs-re ʔer^e ʌu-na-n=ʌba ʔye
 あー RED 言-CONJ(SS) 咳 (打)-CONJ(SS) DEST 來-FUT-2SG=ADVRS 3SG
 ʌpl^e=ʋpare ʌel ʔkun el-ʋa-m=(ʌ)wa ʌdu-gw^e.
 聞-CONJ(SS)=後(SS) する.INF 整 する-FUT-3SG=節末 言-3SG.DEC

「あー」とか「おい」とか言つたり、咳拂ひをしたりしながら下りてゆけば、その人も聞いて(身だしなみを)整へるのだと。

- (32) ʔta ʋyel ʔdu-gw^e.
 一 如是 言-3SG.DEC

一つはさういふことを言つた。

- (33) $\Gamma ta, \vee al-n$ $\wedge komn^e \vee ik^e (\vee) ke$ $pa-i/\vee na-gwa$ $\wedge ai$
 他 兄弟-2SG.POSS 初 家 建.INF 泊-FUT-3SG.SRD 所

ほかには、お前の兄さんの住む家に*

(*ここでの「家」は普段男が共同生活をする「男の家」ではなく、個々人が妻子のために建てる「女の家」。)

- (34) $\{\vee epi\}$ $[\Gamma wi]$ $\Gamma er^e \wedge na-n=\Gamma kene$ $\{\Gamma ila=(\wedge) mo e\}$
 妻.3SG.POSS 夫.3SG.POSS DEST 行.FUT-3SG.CONJ(DS)=後 (DS) 内=か ええ
 $\Gamma ila \wedge wau ye-\vee na-n=(\Gamma) kene$ $\Gamma en \Gamma er^e (\Gamma) ta \vee su \wedge op \wedge el$
 内 留守 (有る)-FUT-3SG.CONJ(DS)=後 (DS) 汝 柴 一 刈.INF 把手 作.INF
 $\vee kn$ $\wedge i-na-dae$
 肩にかける.INF 取-FUT-2SG.MK

{奥さんが}[夫が]出かけてしまつて{家にといふか}家が留守の時に、お前が柴刈をして括つて肩にかけて行く場合は、

- (35) $\vee kn$ Γyu $\wedge mena \wedge i$ $\wedge er$ $\wedge kor-^e=\vee pare$ Γen
 肩にかける.INF 持つて来る.INF 外 DEM 移.INF COMPL-CONJ(SS)=後 (SS) 汝
 $\Gamma ere \wedge yal \vee ik^e \wedge p-o \wedge du-gw^e$.
 DEST 男 家 行-IMP 言-3SG.DEC

肩にかけて運んで来たら(その家の)外に下ろしてしまつてお前は男の家に歸れと言つた。

- (36) $\vee apal \vee ik^e \Gamma ila \wedge i$ $\Gamma er^e \vee ye-re$ $\wedge mol+\vee kl-o$ $\wedge du-gw^e$.
 女 家 内 DEM 柴 置-CONJ(SS) 居 +NEG-IMP 言-3SG.DEC
 女の家の中で柴を下ろして留まるなど言つた。

- (37) $mol-\vee a-n=(\wedge) ba$ $(\vee) ke$ $\vee pa-gwa$ $\vee apal \wedge u-na-wdae,$
 居-FUT-2SG=ADVRS 建.INF 泊-3SG.SRD 女 来-FUT-3SG.MK
 留まると、住んでゐる女が歸つて来るだらう?

- (38) $\wedge u-na-n$ $\vee apal \Gamma noman^e \Gamma ki \vee pa-gwa$ $mol-m+\Gamma ia,$ $\Gamma u-re$
 来-FUT-3SG.CONJ(DS) 女 考へ 悪 内在-3SG.SRD 居-3SG+EXPL 来-CONJ(SS)
 $\Gamma en \Gamma en \wedge gur-a-m=\wedge ua$ $\wedge du-gw^e$.
 汝 汝 引-FUT-3SG=節末 言-3SG.DEC

[女が]来たら、女といふのは悪い考へをもつものだから、来てお前のことを押し倒すと言つた。

- (39) $\lambda gur-a-n$ Γka λkot $el-\lambda a-n=(\lambda)wa$ $\lambda du-gw^e$.
引-FUT-3SG.CONJ(DS) 詞 裁判 する-FUT-2SG=節末 言-3SG.DEC
押し倒されたら、[姦通の] 裁判をすることになると言つた。
- (40) $\lambda bola$ λkui $\lambda te-na-n=\lambda ua$ $\lambda du-gw^e$.
豚 償 與-FUT-2SG=節末 言-3SG.DEC
豚で償ひをすることになると言つた。
- (41) Γdi λmik $\lambda te-na-n=\lambda ua$ $\lambda du-gw^e$.
斧 錢 與-FUT-2SG=節末 言-3SG.DEC
財産を渡すことになると言つた。
- (42) λyel $\Gamma e+\lambda kl-o$ $\lambda du-gw^e$.
如是 する +NEG-IMP 言-3SG.DEC
そんなことはするなと言つた。
- (43) Γen Γer^e Γp λyal λvik^e λip^e $\Gamma mol-o$ $\lambda du-gw^e$.
汝 DEST 行.INF 男 家 上方. あの 居-IMP 言-3SG.DEC
お前は、上の方の男の家に行つて [そこに] ゐろと言つた。
- (44) Γye Γu $kan-\lambda a-n$ Γer^e $ye-\lambda na-gwa$ $\lambda kan-e$ $\lambda kepa$
3SG 來.INF 見-FUT-CONJ(DS) 柴 有-FUT-3SG.SRD 見-CONJ(SS) 薩摩芋
 $ke-\lambda na-wdae$ Γal $\lambda d-na-wdae$ $\lambda kepa$ λke Γen $\lambda te-na-wdae$
炊-FUT-3SG.MK 呼 言-FUT-3SG.MK 薩摩芋 炊.INF 汝 與-FUT-3SG.MK
その人(嫂)は歸つて来て見るに、柴が(外に)置いてあれば見付けて、芋を炊いたら
呼び聲を上げて、お前に芋を炊いてくれるのだから、
- (45) Γyu λyal $\lambda vike$ Γen $\lambda te-na-n$ $\Gamma ne-rre,$ $\lambda vena$ Γpu
持つて來る.INF 男 家 汝 與-FUT-3SG.CONJ(DS) 食-CONJ(SS) さて 夕
 $\lambda d-na-wdae$ Γp Γge $\lambda vapal$ $\lambda pren$ $pai-\lambda na-gwal$ λkau $\Gamma d-re$
(言)-FUT-3SG.MK 行.INF 娘 女 友 泊-FUT-3SG.LOC 歌垣 (言)-CONJ(SS)
 $wan-\lambda a-ga$ Γer^e $\lambda na-n=\lambda ua$ $\lambda du-gw^e$.
巡-FUT-2SG.SRD DEST 行.FUT-2SG=節末 言-3SG.DEC
男の家に持つて来てお前にくれたら食べて、そして日が暮れたら未婚の女の子の親
しいのが泊まつてゐるところにでも、歌垣をして過ぎしに行けと言つた。

- (46) *Vene Γen Γer^e Vye-re Vapal Vike Γmo+Vkl-o Λdu-gw^e.*
 さて汝 柴 置-CONJ(SS) 女 家 居-NEG-IMP 言-3SG.DEC

そして、お前は女の家に柴を下ろして居付くと言った。

- (47) *Γta Vyel Γd Λkor-gw^e.*
 一 如是 言-INF COMPL-3SG.DEC

一つはさういふことを言った。

- (48) *Γta Λi=Λwe Λyal Γta Γbo Λkame Λkomna=Λya Vkepa=(Λ)ya Λkopa=Λa*
 他 DEM=句末 男 他 砂糖黍 バナナ 野菜=と 薩摩芋=と 赤い蝸の木=と
Λarawa=Λa Γgn Λpopo=Λo Vkal Λi ye-Λna-gwa Λim^e Γen Γp*
 南瓜=と 茸 パパイヤ=と 物 DEM 有-FUT-3SG.SRD 下方. あの 汝 行-INF
Vau+(V)kl-o Λdu-gw^e.
 握 +NEG-IMP 言-3SG.DEC

ほかには、下の方 [の畑] で他人が、砂糖黍にバナナ、野菜と薩摩芋と、赤い蝸の木の實と、南瓜と、パパイヤ、といったものを持つてゐたら、行つて手を付けるなど言つた。

(*パパイヤは *Λpopo* だが、類別語として「gn」が添へられることがある。)

- (49) *Γen Vnen^e ye-Λna-ga Vkal Λi Γi Λn-o Λdu-gw^e.*
 汝 自 所有-FUT-2SG.SRD 物 DEM 取-INF 食-IMP 言-3SG.DEC

お前が自分で持つてゐるものを取つて食べろと言つた。

- (50) *Λyal Γta ye-Λna-gwa Λime Γen Γp Vau Λi-na-n=Niba,*
 男 他 所有-FUT-3SG.SRD 下方. あの 汝 行-INF 握-INF 取-FUT-2SG=ADVRS

他人の下の方の所有物に、行つて手を付けて取つたら、

- (51) *Γye Γp Γp Λim^e kan-Λa-n Vye+(V)kl-a-n*
 3SG 行-INF 行-INF 下方. あの 見-FUT-3SG.CONJ(DS) 有 +NEG-FUT-3SG.CONJ(DS)
Γna Vkal Vye-krae Vala Vau Λi-m-e?
 我 物 所有-1SG.MK 誰 握-INF 取-3SG-INT
Γd-re Λkoga Λs-na-n
 言-CONJ(SS) 被害を言ひ募ること (打)-FUT-3SG.CONJ(DS)

その人が下りて行つて、無くなつてゐるのを見たら、「俺が持つてゐたものは誰が取つたんだ?」と行つて聲を上げたら、

- (52) *ʎyal ʎta ʎkan ʎmol-e ʎyal ʎi ʎo-gwa ʎdu-m-a, ʎi-ral*
 男 一 見.INF 居-CONJ(SS) 男 DEM 行-3SG.SRD (言)-3SG-PERM 取-IMM
ʎyu-m=ʎua ʎd-na-n ʎen ʎdi ʎmike ʎtope ʎte-na-n=ʎua
 取-3SG=節末 言-FUT-3SG.CONJ(DS) 汝 斧 錢 贖 與-FUT-2SG=節末
ʎdu-gw^e.
 言-3SG.DEC

見守つてゐる人の中から「この男が[そちらへ]行つたからな。取つたに違ひない。」
 と言ふのが出て、財貨で贖ふことになると言つた。

- (53) *ye-ʎna-gwa ʎwon^e ʎwon^e ʎkan+(ʎ)kl-o, ʎau ʎi+(ʎ)kl-o ʎdu-gw^e.*
 所有-FUT-3SG.SRD 正 正 見+NEG-IMP 握.INF 取+NEG-IMP 言-3SG.DEC

人のものは全く見もするな、手に取るなと言つた。

- (54) *ʎen ʎp ʎime {ʎag} ʎkan-go ʎpai-ʎna-n ʎkan-e ʎen*
 汝 行.INF 下方.あの 見-2SG.CONJ(DS) 稔-FUT-CONJ(DS) 見-CONJ(SS) 汝
ʎai ʎte-re ʎere ʎba ʎta ʎp-re ʎere ʎp-o ʎdu-gw^e.
 場所 與-CONJ(SS) DEST 所 他 行-CONJ(SS) DEST 行-IMP 言-3SG.DEC

下の方に行つて、[畑に] なにかなつてゐるのを見たら、お前は避けて、他所に行きな
 さいと言つた。

- (55) *ʎkan ʎkor-o ʎdu-gw^e.*
 見.INF 捨-IMP 言-3SG.DEC

見たら放つておけと言つた。

- (56) *ʎau ʎi+(ʎ)kl-o ʎdu-gw^e.*
 握.INF 取+NEG-IMP 言-3SG.DEC

手を付けて取るなと言つた。

- (57) *ʎyel ʎd ʎne ʎto-gw^e.*
 如是 言.INF 1NSG.EXCL 與-3SG.DEC

我々にさう言つた。

- (58) *Vau* *li-na-dae* *Γen* *ŋpe* *el-ŋa-n=(ŋ)wa* *ŋdu-gw^e*.
 握.INF 取-FUT-2SG.MK 汝 支拂 する-FUT-2SG=節末 言-3SG.DEC
 手を付けて取つたら賠償することになると言つた。
- (59) *Vtop^e* *el-ŋa-n=(ŋ)wa* *ŋdu-gw^e*.
 贖 する-FUT-2SG=節末 言-3SG.DEC
 償ひをすることになると言つた。
- (60) *Vena* *Γta* *li=ŋwe* *Vene* *ŋyel* *ŋdu-gwe*.
 さて 他 DEM=句末 さて 如是 言-3SG.DEC
 さて、ほかには、こんなことを言つた。
- (61) *Γen* *ŋgaal* *Γta* *Γmo+ŋkl-a-ga* *ŋyal* *mol-ŋa-ga* *ŋmo-n+Γa*.
 汝 子供 IRR 居 +NEG-FUT-2SG.SRD 男 居-FUT-2SG.SRD 居-2SG+EXPL
 お前は子供ではなく大人(既婚男性)になる存在だ。
- (62) *ŋapal* (*Γta*) *Γi* *wan-ŋa-ga** *ŋikn=ŋrae* *ŋkonan* *el-ŋa-gi* *ŋbnan***
 女 一 交.INF 巡-FUT-2SG.SRD 時=MK 仕事 する-FUT-2SG.DEM 力
ŋwon^e *ŋbol* *Γel-o* *ŋdu-gw^e*.
 正 (切).INF する-IMP 言-3SG.DEC
 女を娶つた時には仕事にもうんと力を入れろと言つた。
 (*「交はる + 巡る」は「結婚する」(千田 2002)。***ŋbnan* は必ず動詞 *ŋbol*-「切る、被る」の連用形と一緒に使はれ、全体で「力を込めて」といふ意味の副詞的表現として使はれる。*ŋwone* 「正しい、とても」のやうな強調語は *ŋbnan* の後に置かれる。)
- (63) *ŋker^e* *ŋsapol* *ŋau-re* *Γpalan* *bol-ŋa-gwi* (*ŋku*) *Γyal^e*
 掘棒 スコップ 握-CONJ(SS) 汗 かく-FUT-3SG.DEM 嚙.INF 水平. この
ŋer-e *Γel-o* *ŋdu-gw^e*.
 移-CONJ(SS) する-IMP 言-3SG.DEC
 掘棒・スコップを持つて汗をかいたら嚙み飛ばして仕事しろと言つた。

- (64) *le-ge le-ge Nkonan li Γer^e λmena Nil^e*
 する-2SG.CONJ(DS) する-2SG.CONJ(DS) 仕事 DEM DEST 外 水平.あの
λna-n=Γkene /kepa li Vsuna Vsuna li Nkomna Vkal li
 行.FUT-3SG.CONJ(DS)=後 (DS) 薩摩芋 DEM 中 中 DEM 野菜 物 DEM
Vsuna Vsuna li λgua Vpai Γi λna-m=λua λdu-gw^e.
 中 中 DEM 過度 稔.INF 取.INF 行.FUT-3SG=節末 言-3SG.DEC

さうしていつて、仕事(耕作)が端の方まで進んだら、薩摩芋も入り雑じり野菜なども入り雑じり、山程できると言つた。

- (65) *Vpai Γi λna-wdae λyopal Γta λu-na-gwa Γs*
 稔.INF 取.INF 行.FUT-3SG.MK 人 一 來-FUT-3SG.SRD 穫.INF
Γyu-re /ke-re λte-na-m=λua λdu-gw^e.
 持つて來る-CONJ(SS) 炊-CONJ(SS) 與-FUT-3SG=節末 言-3SG.DEC

山程できたら、人が來た時に穫つてきて炊いてあげられる(程になる)と言つた。

- (66) *Γka Γta pai-λna-wdae Γbo Nkam pai-λna-gwa bal-λa-n=(λ)wa**
 問題 一 生起-FUT-3SG.MK 砂糖黍 バナナ 稔-FUT-3SG.SRD 刈-FUT-2SG=節末
λdu-gw^e.
 言-3SG.DEC

物入りがあつたら砂糖黍・バナナがなつてゐるのを刈ることができると言つた。

(*砂糖黍は λbal-「刈る」、バナナは Vwe-「伐る」を「收穫する」の意味で用ゐるが、ここでは「砂糖黍」と「バナナ」といふ慣用對句に對して λbal-「刈る」を使つてゐる。砂糖黍とバナナはともに慶弔の際の進物として使はれる。)

- (67) *Nkomna Vkepa wou-λna-m=(λ)wa* λdu-gw^e.*
 野菜 薩摩芋 掘-FUT-3SG=節末 言-3SG.DEC

野菜・薩摩芋を掘れると言つた。

(*野菜は「s-「打つ・採る」など、薩摩芋は Vwou-「掘る」を「收穫する」の意味で用ゐるが、ここでは「野菜・薩摩芋」といふ慣用對語に對して Vwou-「掘る」を使つてゐる。「野菜・薩摩芋」は食べ物一般のことを指す。この文と次の文の主語は三人稱單數になつてゐるが、ミンタイ・マルクス氏によると文脈からは當時の聞き手であつた語り手に言及する二人稱單數の方が自然だといふ。三人稱單數であれば、語り手の妻が主語として想定されることにならう。畑仕事では砂糖黍・バナナは男の領域、薩摩芋・野菜は女の領域になる。)

- (68) *ʋwau-r^e ɽi ɽp ɽp ʎyopal ʎte-na-m=ʎua ʎdu-gw^e.*
掘-CONJ(SS) 取.INF 行.INF 行.INF 人 與-FUT-3SG=節末 言-3SG.DEC
ずつと [畑を] 掘つていつて、人にあげられる (程たくさんできる) と言つた。
- (69) *ʎyopal ʎu-na-gwa ʋep-n ʎi ʋke ʎyu-na-n=ɽkene*
人 來-FUT-3SG.SRD 妻-2SG.POSS DEM 炊.INF 持つて來る-FUT-3SG.CONJ(SS)
ɽen ɽere ʋsu ʋye-re ʎmo-go=ɽkene
汝 柴 刈.INF 置-CONJ(SS) 居-2SG.CONJ(DS)=後 (DS)
人が來たら、お前の奥さんが炊いて持つて來て、お前は柴を刈つてきておいて、
- (70) *ɽer^e ʋsu ɽi ɽp ɽila ʎer^e ʋye-go=(ɽ)kene ʋep-n*
柴 刈.INF 取.INF 行.INF 内 移-CONJ(SS) 置-2SG.CONJ(DS)=後 (DS) 妻-2SG.POSS
ʎi ke-ʋna-gwa=(ɽ)rae ʎyopal ʎu-na-gwa ʋekl#/wa=(ɽ)d ʎt-o
DEM 炊-FUT-3SG.SRD=MK 人 來-FUT-3SG.SRD あらかた=ADVR 與-IMP
ʎdu-gw^e.
言-3SG.DEC
柴を刈つて家に入れて置いておいたら、奥さんが炊いて、[そこに] 人が來たら全部あげろと言つた。
- (71) *ɽte-re mol-ʋa-gi ʎwai pai-ʋna-m=(ʎ)wa ʎdu-gw^e.*
與-CONJ(SS) 居-FUT-2SG.DEM 良 内在-FUT-3SG=節末 言-3SG.DEC
[人に] あげてみれば、幸せになれると言つた。
- (72) *ɽen ɽte+(ʋ)kl-a-gi ɽen ʎyopal ɽen ʎd-na-m=ʎua; ʎgar-n ʎkai*
汝 與 +NEG-FUT-2SG.DEM 汝 人 汝 言-FUT-3SG=節末 體-2SG.POSS 呪
ʎs-na-m=ʎua ʎdu-gw^e.
打-FUT-3SG=節末 言-3SG.DEC
お前が [人に] あげなければ、人はお前を論ふ; 陰口をきくと言つた。
- (73) *ɽer^e ʎmena ɽp-re ʎyopal ɽki ʎmol-m=ʎua=ɽd ʋyel ʎd-na-m=ʎua*
DEST 外 行-CONJ(SS) 人 惡 居-3SG=節末=QUOT 如是 言-FUT-3SG=節末
ʎdu-gw^e.
言-3SG.DEC
[その人はお前の家を] 出て行つてから、「[あいつは] 悪い人だ」と、かう言ふだらうと言つた。

(74) *Λwai λel Λt-o Λdu-gw^e.*
 良 する.INF 與-IMP 言-3SG.DEC

よくしてやれと言った。

(75) *Vana Vyel Γd Γne Λto-gwe.*
 さて 如是 言.INF 1NSG.EXCL 與-3SG.DEC

さて、我々にこんなことを言ったのだ。

(76) *wan-Λa-ga λime Nkonan el-Λa-gi el-Λa-ga*
 巡-FUT-2SG.SRD 下方.あの 仕事 する-FUT-2SG.DEM する-FUT-2SG.SRD
el-Λa-ga Λwai λs-na-gwa λikn λi
 する-FUT-2SG.SRD 終 (打)-FUT-3SG.SRD 時 DEM

下の方で畑仕事をして回る時は、耕し終はつたら、

(77) *Γere Vsu-re Vkn-e*
 柴 刈-CONJ(SS) 肩にかける-CONJ(SS)

柴を刈つて [肩から] 下げて、

(78) *Nkpa-n=Γla {kn-e} kn-Λa-ga λai=Γrae*
 肩-2SG.POSS=LOC 肩にかける-CONJ(SS) 肩にかける-FUT-2SG.SRD 場所=MK
Vkn-e Vpaal-e
 肩にかける-CONJ(SS) 着-CONJ(SS)

肩から下げたら下げておいて、

(79) *Nkan Γi-re λop λel Vkn-e*
 紐 取-CONJ(SS) 把手 作.INF 肩にかける-CONJ(SS)

紐になるものを取つて、取つ手をつけて [肩から] 下げて、

(80) *Γte λarwai ye-Λna-gwa=(Γ)rae Nkpa-n=Γla Vkau-r^e λu-o*
 そして 長 有-FUT-3SG.SRD=MK 肩-2SG.POSS=LOC 擔-CONJ(SS) 來-IMP
Λdu-gw^e.
 言-3SG.DEC

そして長いのがあれば肩に擔いでこいと言った。

- (81) *lu-na-dΓae Γu-re Vkn λyu-na-dae Vapal Vike*
 來-FUT-2SG.MK 來-CONJ(SS) 肩にかける.INF 持つて来る-FUT-2SG.MK 女 家
ler-o λdu-gw^e.
 移-IMP 言-3SG.DEC

着いたら、[肩から]下げてきたのは女の家をやれと言った。

- (82) {*tewa*} *vkau λyu-na-dae Γi λyal Vik^e Γp Γere Veul*
 擔.INF 持つて来る-FUT-2SG.MK 持.INF 男 家 行.INF 薪 割.INF
gal-va-n+(Γ)a. Veul-o λdu-gw^e.
 焚-FUT-2SG+EXPL 割-IMP 言-3SG.DEC

擔いできたのは男の家に持つて行つて、薪割りして火を焚くのがいい、薪割りしろと言った。

- (83) *Vyel el-va-gi=(Γ)rae Vapal Γi=(Γ)rae Γp kan-va-n Γere*
 如是 する-FUT-2SG.DEM=MK 女 DEM=MK 行.INF 見-FUT-3SG.CONJ(DS) 柴
ye-va-n
 有-FUT-3SG.CONJ(DS)

さうすれば、女は歸つてきて柴があるのを見たら

- (84) *komna Vkepa Vwou λyu-na-gwa vkware ke-va-n*
 野菜 薩摩芋 掘.INF 持つて来る-FUT-3SG.SRD 既 炊-FUT-3SG.CONJ(DS)
Γomal^e=(Γ)kan λne-na-n=lua λdu-gw^e.
 晝=正 食-FUT-2SG=節末 言-3SG.DEC

野菜・薩摩芋を掘つて来たのをすぐに炊けるから、お前は晝間のうちに食事ができると言った。

- (85) {*Γen*} *Vapal li Γp lim^e kan-va-n*
 汝 女 DEM 行.INF 下方.あの 見-FUT-3SG.CONJ(DS)

女が下の方(女の家)で見るに、

- (86) *Vkepa Vwou Γi-r^e λna-n kan-va-n Γer^e*
 薩摩芋 掘.INF 取-CONJ(SS) 行.FUT-3SG.CONJ(DS) 見-FUT-3SG.CONJ(DS) 柴
*Vye+(V)kl-a-n Γer^e=(λ)we=Γd Γkna λgur-a-gwa**
 有 +NEG-FUT-3SG.CONJ(DS) 柴=句末=QUOT 耳.3SG.POSS 引-FUT-3SG.SRD

薩摩芋を掘つて歸つてきて、見るに柴がなければ、柴に困つて

(*Γkna λgur-「耳を引つ張る」は「困る」の意の慣用表現。)

- (87) Γu $\Lambda barwai$ $\Lambda na-n$ Γere Λkui $su-/\ra-l=(\Gamma)d$
 來.INF 長期間 行.FUT-3SG.CONJ(DS) 柴 新 刈-FUT-1SG=QUOT
 $wan-/\a-n$ $/\kamn$ $gr-/\a-m=(\Lambda)wa$ $\Lambda du-gw^e$.
 巡-FUT-3SG.CONJ(DS) 天 暮-FUT-3SG=節末 言-3SG.DEC

長いこと経つてから改めて柴刈りをしようと出歩くうちに、日が暮れると言った。

- (88) $/\yel$ Γd Γne $\Lambda to-gw^e$.
 如是 言.INF 1NSG.EXCL 與-3SG.DEC

我々はこんなことを言はれたもんだ。

- (89) Γen Λyal $/\vik^e$ Λipe Γer^e Λip^e $\Lambda er-a-n=\Lambda ba$ Λyal $/\vike$ Γere $/\veul$
 汝 男 家 上方.あの 薪 上方.あの 移-FUT-2SG=ADVRS 男 家 薪 割.INF
 $/\koa=(\Gamma)d$ Λgal Λyal $/\vike$ $mol-/\a-n=(\Lambda)ba$
 完=ADVR 焼.INF 男 家 居-FUT-2SG=ADVRS

お前は、上の方の男の家に、薪を持ち込んで、薪を割つて火を焚いて男の家にみて、

- (90) $/\nika$ $\Lambda d-na-gwa$ $mol-/\a-ga$ Λwai $pai-/\na-m=(\Lambda)wa$ $\Lambda du-gw^e$.
 暖 (言)-FUT-3SG.SRD 居-FUT-2SG.SRD 良 内在-FUT-3SG=節末 言-3SG.DEC
 暖かくしてみられるのがいいだらうと言った。

- (91) Γen Γere $/\su$ Γyu Λyal $/\vike$ Γta $\Gamma ga+/\kl-a-n=(\Lambda)ba$
 汝 柴 刈.INF 持つて来る.INF 男 家 IRR 焼 +NEG-FUT-2SG=ADVRS

お前が柴刈りをして持つて来て男の家で火を焚くといふことをしなければ、

- (92) $/\vik^e$ $(/\)ke$ $pai-/\na-ga$ $/\viraun$ $\Lambda diwi$ $\Gamma i=(\Gamma)rae$ $/\gui$ $ke-/\na-m=(\Lambda)wa$
 家 建.INF 泊-FUT-2SG.SRD 茅 軒 DEM=MK 冷 (癒)-FUT-3SG=節末
 $\Lambda du-gw^e$.
 言-3SG.DEC

お前の家は軒先まで冷えてしまふと言った。

- (93) *Vgui ke-/na-n=(Γ)kene* *Γen Γer^e=(Λ)we=Γd Γwa#/vdu Γp* *Λyal Γta*
 冷 (癒)-FUT-3SG.CONJ(DS)=後 (DS) 汝 薪=句末=QUOT 探.INF 行.INF 男 他
(V)ke pai-/na-gwal *Γer^e Γila* *Λna-n=Λua* *Λdu-gw^e.*
 建.INF 泊-FUT-3SG.LOC DEST 内 行.FUT-2SG=節末 言-3SG.DEC

冷えたら「薪、薪」と探して、他人の家に行つて立ち入ることになると言つた。

- (94) *Λi* *Λdogwa* *Λsipn* *Λkol=Λwe* *Λdu-pn=Λua* *Λdu-gw^e.*
 DEM 火 切れ端 ぎま=句末 言-1PL=句末 言-3SG.DEC

これは燃えさしを人の家で集めるやうな輩と言ふのだと言つた。

- (95) *Vyel Γe+Vkl-o* *Λdu-gw^e.*
 如是 する +NEG-IMP 言-3SG.DEC

こんなことはするなと言つた。

- (96) *Vyel Γd* *Γne* *Λto-gw^e.*
 如是 言.INF 1NSG.EXCL 與-3SG.DEC

我々はこんなことを言はれたもんだ。

- (97) *Λbola Vtop* *Λs-na-gi* *Λbola* *Λi* *Vapal* *Λbola* *Λi* *Vsu Vtop* *Λs-o*
 豚 贖 (打)-FUT-2SG.DEM 豚 DEM 女 豚 DEM 二 贖 (打)-IMP
Λdu-gw^e.
 言-3SG.DEC

豚を買ふ*ときには、豚は雌豚なら二匹買へと言つた。

(*「買ふ」ことは貨幣經濟の導入以前からあつた。貨幣の無かつた時代には貝殻、斧、鳥の羽根などが交換財だつた。)

- (98) *Λyal* *Λbola* *Γta* *kul-/va-gi* *Λtenan* *Γta* *Γkul-o* *Λdu-gw^e.*
 男 豚 IRR 飼-FUT-2SG-DEM 同一 一 飼-IMP 言-3SG.DEC

雄豚を飼ふなら一匹飼へと言つた。

- (99) *Vapal* *Λbola* *Λi* *Vsu* *kul-/va-n=(Λ)ba* *Λbl* *mol-/va-gwa* *Λikn=(Γ)rae* *Vgaal^e*
 女 豚 DEM 二 飼-FUT-2SG=ADVRS 大 居-FUT-3SG.SRD 時=MK 仔
kul-/va-gwrae *Γta* *Λi* *Λpaip* *kul-/va-m=(Λ)wa* *Λdu-gw^e.*
 産-FUT-3SG.MK 一 DEM 五 産-FUT-3SG=節末 言-3SG.DEC

雌豚を二匹飼へば、大きくなつたら仔を産んで、一方は五匹を産むと言つた。

- (100) *Γta li λsiks λsepen kul-∇a-m=(∧)wa λdu-gw^e.*
 一 DEM 六 七 産-FUT-3SG=節末 言-3SG.DEC
 もう一方は六匹、七匹を産むと言った。
- (101) *kul-∇a-gwi=(Γ)rae Γen ∇kal λdu-m+Γia.*
 産-FUT-3SG.DEM=MK 汝 物 有-3SG+EXPL
 産んだのはお前のものだから、
- (102) *λkonan λel yal-∇a-ga λim^e=Γrae ∇kepa λne-na-m+Γia.*
 仕事 する.INF 植-FUT-2SG.SRD 下方.あの=MK 薩摩芋 食-FUT-3SG+EXPL
 お前の下の方の畑(耕し植えたところ)で薩摩芋を食べるだらう。
- (103) *λbola Γi=(Γ)rae Γu λbl λna-n ∇pawa Γs-re λpor*
 豚 DEM=MK 来.INF 大 行.FUT-3SG.CONJ(DS) 肥 (打)-CONJ(SS) 巨
mol-∇a-m=(∧)wa λdu-gw^e.
 居-FUT-3SG=節末 言-3SG.DEC
 豚が大きくなつたら、肥えて大きくなると言った。
- (104) *Γka Γta pai-∇na-gwa Γta Γs ke-∇na-n=(∧)wa λdu-gw^e.*
 問題 一 生起-FUT-3SG.SRD 一 殺.INF 炊-FUT-2SG=節末 言-3SG.DEC
 物入りの時には一匹屠つて調理できると言った。
- (105) *λpati Γta pai-∇na-gwa Γs ke-∇na-n=(∧)ba λyopal Γta*
 宴 一 生起-FUT-3SG.SRD 打.INF 炊-FUT-2SG=ADVRS 人 一
gol-∇a-gwa Γta Γs ke-∇na-n=(∧)wa λdu-gw^e.
 死-FUT-3SG.SRD 一 打.INF 炊-FUT-2SG=節末 言-3SG.DEC
 宴(慶弔の集まり)があつても屠つて調理でき、人が死んでも一匹屠つて調理できると言った。
- (106) *Γta λyu mol-∇a-gwi=(Γ)rae ∇apal λulpe Γta pai-∇na-gwa*
 一 普通 居-FUT-3SG.DEM=MK 女 婚禮 一 生起-FUT-3SG.SRD
 [屠らずにゐる豚が] まだゐれば、婚姻儀禮があつて、

- (107) *Vapal=(Γ)ta ni-ra-l=Γd el-ʋa-gwa Γta Nkan Nkol Γi*
 女=一 取-FUT-1SG=QUOT する-FUT-3SG.SRD 一 繩 括.INF 取.INF
ʌna-n=ʌua ʌdu-gw^e.
 行.FUT-2SG=節末 言-3SG.DEC

女を娶らうとする者があれば、[豚を]一匹繩で括つて連れてこられると言つた。

- (108) *Vkal Γkan=(Γ)kan Γta pai-ʋna-wdae Nbola mol-ʋa-gwa Vkal*
 物 種=種 IRR 生起-FUT-3SG.MK 豚 居-FUT-3SG.SRD 物
el-ʋa-ga ʌwai pai-ʋna-m=(ʌ)wa ʌdu-gw^e.
 する-FUT-2SG.SRD 良 内在-FUT-3SG=節末 言-3SG.DEC

いろいろなことが起こつた時に、豚がゐれば、事を行ふのに良いと言つた。

- (109) *Ni Γta Γmo+ʋkl-a-gwa*
 DEM IRR 居 +NEG-FUT-3SG.SRD

これ(豚)がゐなければ、

- (110) *Γen Nbola Ni Γta ʋtop Γs Γku+ʋkl-a-ga*
 汝 豚 DEM IRR 贖 (打).INF 飼 +NEG-FUT-2SG.SRD

お前が豚を買つて飼はなければ、

- (111) *Γen Nbola Vkal Nkan Γta ʋye+(ʋ)kl-a-gwa*
 汝 豚 物 種 IRR 有 +NEG-FUT-3SG.SRD

お前に豚や他の財産がなければ、

- (112) *Γen ʌd-na-n Γen Vkan Γml^e Ni ʌer-go ʋkamn ʋkawa*
 汝 言-FUT-3SG.CONJ(DS) 汝 見.INF 上 DEM 移-2SG.CONJ(DS) 天 雲
ʌip^e ʌd-na-m=ʌua ʌdu-gw^e.
 上方.あの 有-FUT-3SG=節末 言-3SG.DEC

(人は)お前のことを論ふが、お前が見上げると空がある[ばかりだ]と言つた。

- (113) *Vaal-n* *Γta* *li=Γrae* *Vkal* *ye-Vna-gwa* *Λyu-na-m=Λua*
 兄弟-2SG.POSS 他 DEM=MK 物 有-FUT-3SG.SRD 持つて来る-FUT-3SG=節末
Λdu-gw^e.
 言-3SG.DEC

ほかのお前の身内は所有してあるものを持つてくると言つた。

- (114) *Ven* *Vnal* *Nkal** *li-ra-l=Λd=Γkene* *Vkan* *Vmaune* *ler-ge*
 汝 何 物 取-FUT-1SG=QUOT=後 (DS) 見.INF 地面 移-2SG.CONJ(DS)
Λgapa *Vmaun* *li* *Λd-na-m=Λua* *Λdu-gw^e*.
 地 地面 DEM 有-FUT-3SG=節末 言-3SG.DEC

お前は何を持つてゆかうと見下ろすと地がある [ばかりだ] と言つた。

(**Vkal* 「物」は單獨では上昇型で発音されるが、*Vnal* 「何」に後続する際に *Nkal* と下降型で現れる。)

- (115) *Γen* *Λepal* *Λyal* *mol-Va-gi* *Nkor-e* *Nkui* *Γu* *Vgaal* *Γkepl=(V)kole*
 汝 人 男 居-FUT-2SG.DEM ADVRS-CONJ(SS) 新 来.INF 子供 小=姿
Γp-re *Vgun* *Λbol* *mol-Va-n=(Λ)wa* *Λdu-gw^e*.
 行-CONJ(SS) 屈 (被).INF 居-FUT-2SG=節末 言-3SG.DEC

いつぱしの大人になるどころか、小僧つ子にもどつて身をかがめて (身を潜めて) みなければならぬと言つた。

- (116) *Vkal* *Γta* *Vye-ge* *Γi+(V)kl-a-n+(Γ)a,* *Γen* *Vnal* *Nkal*
 物 IRR 所有-2SG.CONJ(DS) 取 +NEG-FUT-2SG+EXPL 汝 何 物
li-ra-l=Γd *Λpl-e* *Vgun* *Λbol* *mol-Va-n=(Λ)wa* *Λdu-gw^e*.
 取-FUT-1SG=QUOT 思-CONJ(SS) 屈 (被).INF 居-FUT-2SG=節末 言-3SG.DEC

所有してあるものがなくて持つてゆけないから、何を持つてゆかうと思つて、身をかがめてみなければならぬと言つた。

- (117) *Γen* *Vyel* *Λel^e=Vpare* *mol-Va-gi=(Γ)rae* *Γu* *Λepal* *Λyal*
 汝 如是 する-CONJ(SS)=後 (SS) 居-FUT-2SG.DEM=MK 来.INF 人 男
mol-Va-n=(Λ)wa *Λdu-gw^e*.
 居-FUT-2SG=節末 言-3SG.DEC

お前はそんな (我々が指示した) やうにして [豚や財産を持つて] むれば、いつぱしの大人になれると言つた。

- (118) $\Gamma_{eku} \Gamma_{ka} \Gamma_{ta} \text{pai-}\mathcal{V}\text{na-gwa}$ $\Gamma_{en} \mathcal{V}\text{kau}^* \Gamma_{s-re}$ $\Gamma_{ka} \Gamma_{d-re}$
 後 詞 一 生起-FUT-3SG.SRD 汝 演説 (打)-CONJ(SS) 詞 言-CONJ(SS)
 $el-\mathcal{V}\text{a-ga}$ $\mathcal{V}\text{ne-n}$ $\mathcal{V}\text{al-n}$ li $pl-\mathcal{V}\text{a-m}=(\wedge)\text{wa}$
 する-FUT-2SG.SRD 父-2SG.POSS 兄弟-2SG.POSS DEM 聞-FUT-3SG=節末
 $\wedge\text{du-gw}^e$.
 言-3SG.DEC

後々物入りの時、お前が演説をしたり物を言つたりする際には、お前の一族が聞くことになるだらうと言つた。

(*槍を持つて行つたり來たりしながら行ふ公の場での演説。)

- (119) $\Gamma_{en} \mathcal{V}\text{kal}$ li $\Gamma_{ta} \mathcal{V}\text{ye}+(\mathcal{V})\text{kl-a-ga}$ $\mathcal{V}\text{kau}$ Γ_{ta} $\wedge\text{s-na-ga}$ lyopal
 汝 物 DEM IRR 所有 +NEG-FUT-2SG.SRD 演説 IRR (打)-FUT-2SG.SRD 人
 li nta $\Gamma_{p}+(\mathcal{V})\text{kl-a-m}=(\wedge)\text{wa}$ $\wedge\text{du-gw}^e$.
 DEM IRR 聞 +NEG-FUT-3SG=節末 言-3SG.DEC

お前に財産がなければ、演説をしても人は聞かないだらうと言つた。

- (120) Γ_{u} $\mathcal{V}\text{gaal}$ Γ_{kepl} $\wedge\text{na-n}=\wedge\text{ua}$ $\wedge\text{du-gw}^e$.
 來.INF 子供 小 行.FUT-2SG=節末 言-3SG.DEC
 小僧つ子になつてしまふと言つた。

- (121) $\mathcal{V}\text{yel}$ Γ_{d} Γ_{ne} $\wedge\text{to-gw}^e$.
 如是 言.INF 1NSG.EXCL 與-3SG.DEC
 我々はこんなことを言はれたもんだ。

- (122) $\wedge\text{mol}$ $\mathcal{V}\text{pai}$ $el-\mathcal{V}\text{a-pga}$ Γ_{ka} $\wedge\text{du-gwi}$ $\mathcal{V}\text{yel}$ $\wedge\text{du-gwe}$.
 居.INF 泊.INF する-FUT-1PL.SRD 詞 言-3SG.DEM 如是 言-3SG.DEC
 我々が暮らしてゆくことについての話はこんなことを言つたんだ。

- (123) Γ_{bo} $\text{yal-}\mathcal{V}\text{a-gi}$ $\mathcal{V}\text{suna}$ $\text{yal-}\mathcal{V}\text{a-gi}$ lyal-e $\wedge\text{bna}$ $\Gamma_{kol}^e=\Gamma_{kol}^e$
 砂糖黍 植-FUT-2SG.DEM 中 植-FUT-2SG.DEM 植-CONJ(SS) 端 片方=片方
 li Γ_{ta} Γ_{ura} $\wedge\text{d-na-gwa}$ li $\mathcal{V}\text{ama}$ Γ_{yal-o} $\wedge\text{du-gw}^e$.
 DEM IRR 柔 (言)-FUT-3SG.SRD DEM 亦 植-IMP 言-3SG.DEC

砂糖黍を植ゑる時は、真ん中に植ゑるのは植ゑて、両端は柔らかいところがあればそこにも植ゑろと言つた。

- (124) *ʌkam kul-ʌa-gi* ʌsuna kul-ʌa-ga ʌkul-e ʌbna ʌkol^e=ʌkol^e*
 バナナ 植-FUT-2SG.DEM 中 植-FUT-2SG.SRD 植-CONJ(SS) 端 片方=片方
ʌi ʌkul-o ʌdu-gw^e.
 DEM 植-IMP 言-3SG.DEC

バナナを植える時は、真ん中に植えるのは植えて、両端に [も] 植えろと言った。

(*ʌyal-は一般に「植える」、ʌkul-はバナナや蝸の木のほか換金作物を「植える」。)

- (125) *ʌomal^e mol-ʌa-ga ʌknan gol-ʌa-dae,*
 晝 居-FUT-2SG.SRD 飢 感-FUT-2SG.MK

日中にお前の腹が減つたら、

- (126) *ʌyopal ʌta ʌu-na-wdae ʌbo ʌbna ʌkol^e=ʌkol^e ʌd-na-gwa ʌbal*
 人 一 来-FUT-3SG.MK 砂糖黍 端 片方=片方 有-FUT-3SG.SRD 刈.INF
ʌt-o ʌdu-gw^e.
 與-IMP 言-3SG.DEC

[あるいは] 人が来たら両端にある砂糖黍を刈つてあげろと言った。

- (127) *ʌsuna ʌd-na-gwa (ʌ)kan ʌkor-o ʌdu-gw^e.*
 中 有-FUT-3SG.SRD 見.INF 捨-IMP 言-3SG.DEC

真ん中にあるのは置いておけと言った。

- (128) *ʌka ʌta pai-ʌral ʌel-m+ʌia, ʌnepal ʌta gol-ʌa-m+(ʌ)ia, ʌte ʌnepal*
 問題 一 生起-IMM する-3SG+EXPL 人 IRR 死-FUT-3SG+EXPL そして 人
ʌvapal ʌta ʌi-na-m+ʌia, ʌkomna ʌkepa ʌta ke-ʌral ʌel-m+ʌia,
 女 IRR 取-FUT-3SG+EXPL 初 薩摩芋 IRR 炊-IMM する-3SG+EXPL

物入りがありさうだとか、人が死ぬとか、それに人が女を娶るとか、野菜・薩摩芋を炊かうとする*とか、

(*「野菜・薩摩芋を炊かうとする」は宴の準備を示唆する表現。)

- (129) *ke-ʌna-gwa ʌikn=(ʌ)rae ʌp ʌsuna ʌim^e ʌbo ʌbl yal-ʌa-ga*
 炊-FUT-3SG.SRD 時=MK 行.INF 中 下方.あの 砂糖黍 大 植-FUT-2SG.SRD
ʌbal-e
 刈-CONJ(SS)

炊くときには下の方の真ん中の大きな砂糖黍を植えたのを刈つて、

- (130) *ʌkam ʌsuna ʌbl kul-ʌa-ga pai-ʌna-gwi ʌda ʌpal-go*
 バナナ 中 大 植-FUT-2SG.SRD 稔-FUT-3SG.DEM 覆.INF 着-2SG.CONJ(DS)
ʌbol ye-ʌna-gwi ʌwe-re ʌkau ʌyu ʌyopal ʌi ʌt-o
 熟 有-FUT-3SG.DEM 伐-CONJ(SS) 擔.INF 持つて来る.INF 人 DEM 與-IMP
ʌdu-gw^e.
 言-3SG.DEC

真ん中にバナナの大きなのを植ゑたのが生つたのを、覆つておいたら熟したのを伐つて、擔いできて人にあげろと言つた。

- (131) *ʌen ʌyopal ʌyal mol-ʌa-n=(ʌ)wa ʌdu-gw^e.*
 汝 人 男 居-FUT-2SG=節末 言-3SG.DEC.

立派な人になれると言つた。

- (132) *ʌyel ʌdu-gwe.*
 如是 言-3SG.DEC

さう言つたもんだ。

- (133) *ʌana ʌmol ʌpai el-ʌa-gwa ʌdu-gwa ʌd ʌkor-krae.*
 さて 居.INF 泊.INF する-FUT-3SG.SRD 言-3SG.SRD 言.INF COMPL-1SG.MK

さて、人が暮らしてゆく話は話し終はつたね。

- (134) *ʌkunl ʌka ʌdu-gwa ʌd ʌkor-krae.*
 盜 詞 言-3SG.SRD 言.INF COMPL-1SG.MK

盗みの話を話し終はつた。

- (135) *ʌana (ʌ)su ʌi ʌdu-gwa ʌd ʌkor-ke.*
 さて 二 DEM 言-3SG.SRD 言.INF COMPL-1SG.DEC

さて、この二つについての話を話し終はつた。

- (136) *ʌeku ʌmol ʌu ʌyopal ʌna-pga ʌkrn ʌkaman ʌne*
 後 居.INF 來.INF 人 行.FUT-1PL.SRD 訓 話 1PL.EXCL
ʌto-gwa=ʌmere ʌmala ʌd ʌkor-ki.
 與-3SG.SRD=について 近 言.INF COMPL-1SG.DEM

我々が後々育つて大人になることについて教へられたことについて、ちやうど話したところだ。

(137) *kyel* ʔd ʔne ʔto-gwe.
如是 言.INF 1NSG.EXCL 與-3SG.DEC

我々はこんな風に言はれたものだ。

2.2 テキスト全譯

我々が昔、両親と一緒に暮らしてゐたころ、子供を生み、[子供が成長したら]男の家にやつて、訓話を聞かせる際には、男の家に三箇所火を焚いたものだ。さうして、子供に竝ぶやうに言ふ。子供は寝臺の板を外してきて、寝臺の板を外してきて爐端のぐるり全てに置いて、我々が爐端のぐるりに坐り終はると、男が話を始める。

最初に話すことは、昔、盗みをはたらくことについてだつた。「盗みはするな」と。大人(既婚)になつたら他人の妻を誘つてはならない、不貞をはたらいてはならないと。このやうに教へられ、「そんなことをすると、諍ひ・面倒を起こすことになる」と言はれた。「決してそんなことはしてはならない、慎め」と。

そして、川に降りて行く時には大聲を出すなど。大聲を出して歩くと、盗みをはたらくやうな者は後ろからこつそりやつて来て、人の物を手にして持ち去つて、[その人の足跡が]お前の足跡と混ざつてしまふと、[犯人を探す者が]その足跡をつけて家にやつて来て、お前は身に覚えがなくとも豚で償ひ(ʔkui)をすることになる、償ひ(Nkumap)をすることになると。下の方で無駄口を叩いて歩くな、静かに歩けと言はれた。

さて、上の方、女が芋を洗ふところに行く際には、山で柴刈をして歸つて来る時など、山で聞くに、人が、女子供が下の方で芋を洗ふ音がしたら、「あー」とか「おい」とか言つたり歌を歌つたりして、ごちやごちや言ひながら道に行くものと言はれた。お前が来ても、その人は物音を聞いて、あられもない姿で油断してゐたとしても装ひをかき合はせて、かき合はせてゐたならば、お前が来るといふときにも叫ぶことはない。その人が知らずにをれば、お前が思ひ耽つて(聲も立てずに)下りて行つて出くはした時に、「お前、わたしのモノを見たね」と言つて叫ぶから、お前は豚で賠償し、また金銭をもやるはめになると。金銭をやるはめになると。こんなことはするなど。お前が来る際に上手で聞くに、女が下手の川にゐる氣配がしたら「あー」とか「おい」とか言つたり、咳拂ひをしたりしながら下りてゆけば、その人も聞いて(身だしなみを)整へるのだと。一つはさういふことを言はれた。

ほかには、お前の兄さんの住む家に夫が出かけてしまつて家が留守の時に、お前が柴刈をして括つて肩にかけて行く場合は、肩にかけて運んで来たら(その家の)外に下ろしてしまつてお前は男の家に歸れと言はれた。女の家の中で柴を下ろして留まるなど。留まると、住んでゐる女が歸つて来るだらう?女が来たら、女といふのは悪い考へをもつものだから、来てお前のことを押し倒すと。押し倒されたら、[姦通の]裁判をすることになると。豚で償ひをすることになると。財産を渡すことになると。そんなことはするなど。お前は、上の方の男の家に行つて[そこに]ゐると。その人(嫂)は歸つて来て見るに、柴が(外に)置い

てあれば見付けて、芋を炊いたら呼び聲を上げて、お前に芋を炊いてくれるのだから、男の家に持って来てお前にくれたら食べて、そして日が暮れたら未婚の女の子の親しいのが泊まつてゐるところにでも、歌垣をして過ごしに行けと。そして、お前は女の家に柴を下ろして居付くなど。

一つはさういふことを言はれた。

ほかには、下の方[の畑]で他人が、砂糖黍にバナナ、野菜と薩摩芋と、赤い蝸の木の實と、南瓜と、パイナップル、といったものを持つてゐたら、行つて手を付けるなど言つた。お前が自分で持つてゐるものを取つて食べろと。他人の下の方の所有物に、行つて手を付けて取つたら、その人が下りて行つて、無くなつてゐるのを見たら、「俺が持つてゐたものは誰が取つたんだ?」と行つて聲を上げたら、見守つてゐる人の中から「この男が[そちらへ]行つたからな。取つたに違ひない。」と言ふのが出て、財貨で贖ふことになる。人のものは全く見もするな、手に取るなど。下の方に行つて、[畑に]なになつてゐるのを見たら、お前は避けて、他所に行きなさいと。見たら放つておけと。手を付けて取るなど。我々はさう言はれた。手を付けて取つたら賠償することになると。償ひをすることになると。

さて、ほかには、こんなことを言つた。お前は子供ではなく大人(既婚男性)になる存在だ。女を娶つた時には仕事にもうんと力を入れろと。堀棒・スコップを持つて汗をかいたら噛み飛ばして仕事しろと。さうしていつて、仕事(耕作)が端の方まで進んだら、薩摩芋も入り雑じり野菜なども入り雑じり、山程できると。山程できたら、人が来た時に穫つてきて炊いてあげられる(程になる)と。物入りがあつたら砂糖黍・バナナがなつてゐるのを刈ることができる。野菜・薩摩芋を掘れると。ずつと[畑を]掘つていつて、人にあげられる(程たくさんできる)と。人が来たら、お前の奥さんが炊いて持つて来て、お前は柴を刈つてきておいて、柴を刈つて家に入れて置いておいたら、奥さんが炊いて、[そこに]人が来たら全部あげろと。[人に]あげてみれば、幸せになれる。お前が[人に]あげなければ、人はお前を論ふ;陰口をきくと。[その人はお前の家を]出て行つてから、「[あいつは]悪い人だ」と、かう言ふだらうと。よくしてやれと。

さて、我々はこんなことを言はれたもんだ。

下の方で畑仕事をして回る時は、耕し終はつたら、柴を刈つて[肩から]下げて、肩から下げたら下げておいて、紐になるものを取つて、取つ手をつけて[肩から]下げて、そして長いのがあれば肩に擔いでこいと。着いたら、[肩から]下げてきたのは女の家にやれと。擔いできたのは男の家に持つて行つて、薪割りして火を焚くのがいい、薪割りしろと。さうすれば、女は歸つてきて柴があるのを見たら野菜・薩摩芋を掘つて来たのをすぐに炊けるから、お前は晝間のうちに食事ができると。女が下の方(女の家)で見ると、薩摩芋を掘つて歸つてきて、見るに柴がなければ、柴に困つて長いこと経つてから改めて柴刈りをしようと思ふうちに、日が暮れると。我々はこんなことを言はれたもんだ。お前は、上の方の男の家に、薪を持ち込んで、薪を割つて火を焚いて男の家にゐて、暖かくしてゐられるのがいいだらうと。お前が柴刈りをして持つて来て男の家で火を焚くといふことをしなければ、お前の家は軒先まで冷えてしまふと。冷えたら「薪、薪」と探して、他人の家に行つて立ち入ることになると。これは燃えさしを人の家で集めるやうな輩と言ふのだと。こんなことはするなど。

我々はこんなことを言はれたもんだ。

豚を買ふときには、豚は雌豚なら二匹買へと。雄豚を飼ふなら一匹飼へと。雌豚を二匹飼へば、大きくなつたら仔を産んで、一方は五匹を産むと。もう一方は六匹、七匹を産むと。産んだのはお前のものだから、お前の下の方の畑(耕し植ゑたところ)で薩摩芋を食べるだらう。豚が大きくなつたら、肥えて大きくなると。物入りの時には一匹屠つて調理できると。宴(慶弔の集まり)があつても屠つて調理でき、不幸があつても一匹屠つて調理できると。[屠らずにゐる豚が]まだゐれば、婚姻儀禮があつて、女を娶らうとする者があれば、[豚を]一匹紐を括つて連れてこられると。いろいろなことが起こつた時に、豚がゐれば、事を行ふのに良いと。これ(豚)がゐなければ、お前が豚を買つて飼はなければ、お前が豚や他の財産を持つてゐなければ、(人は)お前のことを論ふが、お前が見上げると空がある[ばかりだ]と。ほかのお前の身内は所有してゐるものを持つてくると。お前は何を持つてゆかうと見下ろすと地がある[ばかりだ]と。いつぱしの大人になるどころか、小僧つ子にもどつて身を潜めてゐなければならぬと。所有してゐるものがなくて持つてゆけないから、何を持つてゆかうと思つて、身を潜めてゐなければならぬと。お前はそんな(我々が指示した)やうにして[豚や財産を持つて]ゐれば、いつぱしの大人になれると。後々物入りの時、お前が演説をしたり物を言つたりする際には、お前の一族が聞くことになるだらうと。お前に財産がなければ、演説をしても人は聞かないだらうと。小僧つ子になつてしまふと。

我々はこんなことを言はれたもんだ。我々が暮らしてゆくことについての話はこんなことを言つたんだ。

砂糖黍を植ゑる時は、真ん中に植ゑるのは植ゑて、両端は柔かいところがあればそこにも植ゑろと。バナナを植ゑる時は、真ん中に植ゑるのは植ゑて、両端にも植ゑろと。日中にお前の腹が減つたら、[あるいは]人が來たら両端にある砂糖黍を刈つてあげろと。真ん中には置いておくと。物入りがありさうだとか、不幸があるとか、それに人が女を娶るとか、野菜・薩摩芋を炊かうとするとか、炊くときには下の方の真ん中の大きな砂糖黍を植ゑたのを刈つて、真ん中にバナナの大きなのを植ゑたのが生つたのを、覆つておいたら熟したのを伐つて、擔いできて人にあげろと。[さうすれば]立派な人になれると。さう言つたもんだ。

さて、人が暮らしてゆく話は話し終はつたね。盗みの話を話し終はつた。さて、この二つについての話を話し終はつた。我々が後々育つて大人になることについて教へられたことについて、ちやうど話したところだ。我々はこんな風に言はれたものだ。

略號

{...}	言ひ誤り	上付きローマ字	實際の發話で脱落した分
[...]	補ふべき表現		節音
=	接語境界(ゆるい)	聲佈	實際の發話でサンディーを起こした
+	接語境界(かたい)		聲調の基底の聲調
#	語彙的句内境界	1	first person 一人稱

2	second person 二人稱	INF	infinitive 連用形
3	third person 三人稱	INT	interrogative 疑問
ADVR	adverbialiser 副詞化	IRR	irrealis 反實
ADVRS	adversative 逆接	LOC	locativiser 場所化
COM	comitative 共格	MK	mutual knowledge 共有知識
COMPL	completive 完了	NEG	negative 否定
CONJ	conjunctive 接續	NSG	non-singular 非單數
DEC	declarative 平叙法	NVS	non-visual sensory 非視覺證據
DEM	demonstrative 指示詞	PERM	permissive 許可法
DEST	destinative 行先	POSS	possessive 所有
EXCL	exclusive 除外	QUOT	quotative 引用
EXPL	explicative 説明法	RED	reduplicant 重複形
FUT	future 未來	SG	singular 單數
IMM	imminent 將然	SRD	subordinative 從屬法
IMP	imperative 命令	SS	same subject 同主語

参考文献

- 千田俊太郎 (2002) 「ドム語の所有を表はす表現」, 『京都大学言語学研究』, 21, 337–367.
 —— (2013) 「ドム語第二ドム方言」, 『ありあけ 熊本大学言語学論集』, 12, 1–30.

(ちだしゅんたらう、京都大學大学院文學研究科)